

父親が子育てしやすい会社

なお大企業が中心 時短、育休など充実

毎日新聞
2007.4.17

父親の子育てを推進するNPO（非営利組織）「アサーリング・ジャパン」（FJ）と第一生命経済研究所は共同で「父親が子育てしやすい会社アンケート」を行い、結果を発表した。表参照。トップ10はいわゆる大企業が占めた。ただ、全体的に回答数が少なく「残業時間など、答えたくない項目もあったからではないか」（松田茂樹・第一生命経済研究所主任研究員）という。

従業員30人以上の上場企業2238社を対象に今年2月に郵送。回収に応じたのは69社（3・1％）だった。労働時間、休業制度、出産・子育てサポート、育児・研修の4分野約40項目で、制度や利用実績があるほど加算される。

1位の日立製作所は、最長で子どもが小学校3年生修了時まで利用可能な短時間勤務制度があり、男性の利用もある。5巨額の配偶者出産休暇は分割でき、05年度は100人以上が取得した。

2位の帝人グループは、残業を含む年間総労働時間が従業員平均で1900時間と短く、男性の育児休職も多い。3位

父親が子育てしやすい会社

順位	会社名	総合得点
1	日立製作所	258
2	帝人グループ	223
3	トヨタ自動車	213
4	ニチレイフーズ	207
5	富士ソフト	206
6	花王	205
7	ヤマハ	204
8	アサヒビール	195
9	味の素	185
9	川崎重工業	185

のトヨタ自動車も年間総労働時間が短く、部分的在宅勤務制度があり、事業所内の託児施設も交代

制勤務に対応している。FJの安藤哲也代表は「個人の意識改革と企業の制度整備や社内風土の変革が肝心」。松田研究員は「父親が子育てしやすい会社は、それ以外の社員にも働きやすい会社。制度充実にはコストがかかるので、国を挙げて取り組むべきだ」と話している。【浜田和子】